

統計調査員さんのお仕事

～統計調査に協力しよう

右の写真の人は、何をしていますのでしょうか。

この人は、スーパーマーケットで商品の値段を調べる仕事をしている「統計調査員」さんです。

統計調査員さんが、毎月こうして商品の値段を調査することで、地域の物の値段のうつり変わりがわかります。物の値段のうつり変わりがわかると、わたしたちの生活の暮らしやすさがわかります。こうして集めた調査の結果は、年金や最低賃金、公共料金などを決める時の大切な資料となります。

このほかにも、様々な統計調査で、統計調査員さんが活やくしています。

例えば、「国勢調査」は、日本に住んでいる全ての人の性別や年齢、職業などを調べるといっても重要な大きな調査ですが、ここでも統計調査員さんが活やくします。統計調査員さんは受け持った地域の全ての家庭の玄関先を回って、調査票の書き方や提出方法を説明しながら調査票を配り、留守の家庭には、時間を変えて何度も訪問します。

統計調査員の仕事は、根気のいる大変な仕事ですが、現在の社会の姿を正しく知るために行う統計調査には、欠かすことのできない、とても大切な仕事なのです。

みなさんの家庭に、統計調査員さんが訪ねて来たら、積極的に協力しましょう。



あるスーパーマーケットで



写真提供：中日新聞社
(平成29年3月17日朝刊)

37年間、統計調査員のお仕事を続けているNさんの言葉

調査のために各家庭を訪問すると、調査票を出してもらえず、

厳しい言葉を受けることが何度もありました。

それでもあきらめず、くり返し説明するうちに、

「調査票は書いてあるよ」

と、やっと調査票を出してもらえることがあります。

そんな時は、喜びでいっぱいになります。

町でたくさんの人に声をかけてもらえることが、自分自身の財産なので、体力が続く限りこの仕事を続けていきたいです。



データ活用講座

岐阜県職員が出前授業にうかがいます

岐阜県職員が、小・中・高等学校や大学などを訪問し、データからみた岐阜県と市町村の魅力や特徴、データ分析・活用方法などについて解説します。

今までに行ったデータ活用講座のテーマや、使用した教材については、岐阜県統計課のホームページをご覧ください。

データ活用講座の様子



令和2年11月 瑞浪市立陶小学校5年生のみなさんと



令和元年12月 関市立南ヶ丘小学校6年生のみなさんと

出前授業を希望される場合は、岐阜県統計課（企画分析係）まで、ご連絡ください。

※申込み数が多い場合は、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



岐阜県 データ活用講座

指導される先生方へ

～「小学4・5・6年生のための統計学習副読本 グラフでみるかくふるさと岐阜県」について～

今や「統計」は、私たちのくらしの様々な場面で広く活用されており、「統計」を読み解く力は社会人の持つべき能力として欠かせないものとなっています。

岐阜県統計課では、児童生徒が統計データに親しむ機会の創出に積極的に取り組んでおり、学習指導要領で統計学習が拡充されたことを契機として、平成23年度より主に小・中学生向けの出前授業（データ活用講座）を実施しています。

この取り組みを通じて、多くの先生方から「算数・社会科で使えるような身近なデータを集めた教材はないだろうか」「ふるさと学習で活用できるような岐阜県のデータ集はないだろうか」などのご相談を多くいただくようになり、それらのご要望にお応えする形で、統計教育の補助教材として、本書「小学4・5・6年生のための統計学習副読本 グラフでみるかくふるさと岐阜県」を作成する運びとなりました。

本書は、小学生に必要な統計的なものの見方や考え方をはじめとした統計プロセスの実践的学習ができることに加え、岐阜県に関する様々な統計データを用いて、ふるさと岐阜県の魅力や特徴を楽しく学ぶことができる内容となっています。

今般、県内の小学4年生に1部ずつ提供しますが、6年生までの3年間にわたり大切に取り扱うようご指導いただき、算数・社会などの教科の時間に「岐阜県のデータ集」として活用するほか、日常の調べ学習、時には「総合的な学習」「ふるさと学習」の授業などに幅広くご活用いただければ幸いです。

岐阜県 統計課

総務省統計局 第3回「地方公共団体における統計利活用表彰」において特別賞を受賞しました。

平成30年10月、総務省が実施する上記の表彰において、統計を利活用した優れた取り組みとして、当副読本が特別賞を受賞しました。統計データを用いて県の魅力や特徴を楽しく学べることや、アンケート調査を用いた課題解決プロセスの学習ができることなどが評価されました。